日本医学会だより

JAMS News

2003年5月　No. 29

日　本　医　学　会
〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16
日本医師会館内　TEL 03-3946-2121(代)

第12回幹事会・第70回評議員会

標記幹事会・評議員会が定例のものとして，平成15年2月25日に開催された．そこで報告，審議された事項は両者ほとんど同様である．評議員会の冒頭，森医学会長の挨拶として，「昨今，社会が目まぐるしく変わりつつあり，医学・医療の面でも変化が大きく，かつ速い．日本医学会は今まで，学術団体としての純粋さを保ち，社会に向っては余り発言してこなかったが，今後とも果たしてこのような姿勢でよいのかとの意見も寄せられている」と述べた．

先ず，4月開催予定の第26回総会について，その準備状況が杉岡会頭から報告された．

年次報告では，一般的な事業に関する説明があり，とくに平成14年6月開催の「日本医学会100周年記念式典ならびにシンポジウム」，11月開催の「日中医学大会2002」の報告が行われた．

審議事項としては，平成15年度事業計画が承認され，日本脳卒中学会が本年度の新規加盟学会に決定した．

なお，第27回総会は，平成19年4月6日～8日に開催の予定で，岸本忠三会頭の下，副会頭に野田起一郎氏・山本研二郎氏，準備委員長に堀　正二氏が決定した．

第26回日本医学会総会

第26回日本医学会総会は福岡市において，杉岡洋一会頭の下，「人間科学　日本から世界へ―21世紀を拓く医学と医療　信頼と豊かさを求めて―」をメインテーマに，学術講演が2003年4月4日から6日まで，学術・公開展示が4月2日から8日まで開催された．

講演としては，会頭講演：21世紀を拓く医学と医療（杉岡洋一会頭），招待講演：ソフトレーザー脱離イオン化の応用（田中耕一氏），記念講演：人間としての生と死（上田閑照氏），閉会講演：地球と人類の未来…宇宙に生命は満ちあふれているか…（松井孝典氏），公開講演：暗愁のゆくえ（五木寛之氏）などの他，22題の特別講演が行われた．また一般的な学術集合の内容は5本の柱立てで構成され，シンポジウムなど何れも充実した発表・討論であった．今回初めての試みとして，医学部学生の企画によるシンポジウムが開催された．

総会展示は，「すこやかメッセ2003」の愛称の下に，公開展示，学術展示が開催され，盛況裡に終了した．

本総会は，日本医学会100周年に最も近い時点に開催されたため，「日本医学会100周年記念総会」と称され，それを祝っての式典・記念講演が第2日に，皇太子殿下の行啓を仰いで挙行された．

杉岡会頭による会頭講演は，「20世紀における生命科学の飛躍的進歩は，遺伝子レベルの医学や再生医学など，従来の医療を全く変えかねない新たな変革をもたらしつつある．今やわれわれはその光と影両者の存在を十分に認識し，過去の科学技術の進歩と引き換えに人類が見失ったものにも考察を及ぼすだけの英知と見識が必要だろう」と述べ，とくに人を物としてとらえる傾向にあることに警鐘を鳴らした．

最終日の特別シンポジウム「日本の医療の将来」では，坂口　力厚生労働大臣はじめシンポジスト達の熱い論戦が展開され，とくに，混合診療，株式会社参入，医療財源などが主な論点であった．

閉会式では，森日本医学会長が挨拶の中で，日本医学会100年の歴史を振り返り,「わが国は，太古その文化の発祥をもっぱら大陸に求めて以来，常に先進国の進歩・長所に着目し，学ぶことに汲々としてきた感がある．第26回総会では,『日本から世界へ』という言葉が示すように，はじめて『受信』ではなく『発信』を旗印にした．これは大きな意識の転換である．日本流の生命科学を築き，世界に広めていただきたい」と，本総会の基本理念についての解釈を示し，総括とした．

登録者総数は33,154名であった．

第123回日本医学会シンポジウム

平成15年6月12日(木)(10:00〜17:20)，日本医師会館において「ウイルス肝炎」が開催される．参加希望者は，日本医学会に郵便はがきで申し込まれたい（参加費無料）．

プログラムの概要は，下記のとおり．

I. わが国におけるウイルス性肝疾患の現状

1. 日本での急性肝炎の現状/岡部信彦（国立感染症研・感染症情報センター）
2. 日本での慢性肝疾患，特に肝がんの疫学的特徴/大島　明(大阪成人病センター・調査部)

II. 分子レベルからみた肝炎ウイルス

1. A型およびE型肝炎ウイルスとその感染/岡本宏明（自治医大・ウイルス学）
2. B型およびC型肝炎ウイルスとその感染/三代俊治（東芝病院・研究部）

III. 肝炎ウイルスと肝障害

1. C型肝炎ウイルスゲノムの複製機構と感染による細胞増殖の制御/下遠野邦忠(京都大ウイルス研)
2. 肝炎ウイルス感染における免疫学的細胞障害機序/井廻道夫（昭和大・内科）

IV. ウイルス性肝疾患に対する治療の進歩

1. B型肝炎治療；新たな展開―「抗ウイルス薬」を使用した最近の動向/佐田通夫（久留米大・内科）
2. C型肝炎；癌発生の高危険群設定とその対応/小俣政男（東京大・消化器内科）
3. 肝癌治療の進歩―内科的治療/椎名秀一朗（東京大・消化器内科）
4. 肝癌治療の進歩―外科的治療/國土典宏（東京大・肝胆膵外科）

第124回日本医学会シンポジウム

標記シンポジウムは,「肥満の科学」を標題として，平成15年8月29日（金）〜8月31日(日)の間,パレスホテル箱根で開催される予定．参加者は招待された方に限られる．

日本医学会への加盟申請

平成15年度の新規加盟申請については，5月15日公示され,7月31日に締め切る．申請用紙は，日本医学会あて請求されたい．

医学賞・医学研究助成費

平成15年度日本医師会医学賞・医学研究助成費の推薦依頼を5月上旬に発送する．それぞれの要項概略は以下のとおりであるが，詳細は本会事務局に問い合わせられたい．

医学賞：1. 日本医師会会員で，医学上重要な業績をあげた研究者を対象とする．2. 基礎医学・社会医学・臨床医学を通じ計3名に授与する（副賞は1名500万円）．

医学研究助成費：1. 日本医師会会員が行う医学上将来性に富む研究を対象とする．2. 基礎医学・社会医学・臨床医学を通じ15件に授与する（1件150万円）．

なお，医学賞・医学研究助成費の申請には，日本医学会分科会長，全国大学医学部長・医科大学長，またはその他関係諸機関長の推薦を必要とする．

CALENDAR

主 な 研 究 集 会 開 催 日 程

＊：新規

開　催　日	名　　称	会　　場	連　　絡
03. 10. 03–04	第 50 回中部日本生理学会	犬山：犬山市国際観光センター「フロイデ」	京都大学霊長類研究所行動発現分野　鈴木, 三上 TEL : 0568–63–0557 FAX : 0568–63–0563 ysuzuki@pri.kyoto-u.ac.jp mikami@pri.kyoto-u.ac.jp http://www.pri.kyoto-
03. 10. 04–05	第 36 回東北日本生理学会	岩手：八幡平ハイツ	岩手医大 医 生理学第一 TEL : 019–651–5111（3344） FAX : 019–625–3447 E-mail : skimura@iwate-med.ac.jp
03. 10. 04–05	第 24 回バイオメカニズム学術講演会	長野：長野市若里市民文化ホール	信州大 工 機会システム工学科　今度，小山 TEL : 026–269–5144 FAX : 026–269–5145 E-mail : sobim@shinshu-u.ac.jp
03. 10. 16–18	沖 縄 国 際 シ ン ポ ジ ウ ム　NEW Horizons in Molecular Sciences and Systems : An Integrated	Nago City, Okinawa : Bankoku Shinryokan	東京大学医科学研究所内 沖縄国際シンポジウム事務局　松井 TEL : 03–5449–5485 FAX : 03–5449–5486
03. 10. 17–18	第 54 回西日本生理学会	福岡：久留米大学医学部筑水会館	久留米大学医学部生理学講座 第 54 回西日本生理学会事務局 TEL : 0942–31–7542（直） FAX : 0942–31–7695 E-mail : physiol@med.kurume-u.ac.jp
03. 10. 18	第 7 回日本味と匂学会講演会 「本能を動かす匂い：フェロモンの脳内作用」	東京：東大農学部弥生講堂一条ホール	東京都神経科学総合研究所　市川真澄 TEL : 042–323–3838 FAX : 042–321–8678 E-mail : mich@tmin.ac.jp
03. 10. 24	第 8 回日本味と匂学会講演会 「味とおいしさの研究最前線」	大阪：大阪大学吹田キャンパス内　銀杏会館ホール	大阪大 大学院 人間科学研究科　志村　剛 TEL : 06–6879–8048 FAX : 06–6879–8048 E-mail : shimura@hus.osaka-u.ac.jp
03. 10. 25	第 239 回生理学東京談話会	東京：東邦大学医学部 5 号館臨床講堂	東邦大学医学部生理　有田秀穂，高松　研 TEL : 03–3762–4151（2331） FAX : 03–3762–8148 physiol@med.toho-u.ac.jp http://physi1-05.med.toho-u.ac.jp/danwa.htm
03. 10. 31	第 55 回日本生理学会中国四国地方会	岡山：倉敷市立美術館	川崎医大 生理　宮坂武寛 TEL : 086–464–1030 FAX : 086–464–1030 E-mail : physiol@med.kawasaki-m.ac.jp
04. 01.16	千里ライフサイエンスセミナー　ブレインサイエンスシリーズ第 16 回「アルツハイマー病研究の最前線と治療への挑戦」	大阪：千里ライフサイエンスセンタービル	(財) 千里ライフサイエンス振興財団 ブレインサイエンス係 TEL : 06–6873–2001 FAX : 06–6873–2002 E-mail : tnb-lsf@senri-lc.co.jp
04. 06. 02–04	第 81 回日本生理学会大会	札幌：札幌コンベンションセンター	札幌医大 医 生理学第二 TEL : 011–611–2111（内 2660）or TEL & FAX : 011–644–1020（教室直通）

「山田順子先生，於 Rudesheim．Luhmann 教授とそのご家族と一緒に．」

注：前号の山田先生の原稿に添えて掲載する予定だった写真です．どうぞ，前号の原稿と共にご覧下さい．担当者の不注意でこのような間違いをおこしたことを深くお詫びいたします．

（Afternoon Tea 担当：久保義弘）